

■ブロッコリーの殺虫剤・殺菌剤

処理方法	毒性	予防／治療	系統名	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓあたり使用薬量
灌注	－	－	ジアミド	プレバソンフロアブル5	100倍	1箱あたり500ml灌注（1箱あたり5ml）
	－	－	ジアミド	ベリマ－クSC	400倍	1箱あたり500ml灌注（1箱あたり1.25ml）
	－	－	SDHI	パレード20フロアブル	100倍	1箱あたり500ml灌注（1箱あたり5ml）
	－	－	ネオニコチノイド	スタークル顆粒水溶剤	100倍	1箱あたり500ml灌注（1箱あたり5g）
	－	－	Qil	オラクル顆粒水和剤	200～500倍	1箱あたり500ml灌注（1箱あたり2.5g）
	－	－	有機リン	オルトラン粒剤	6kg/10a(2g/株)	
土壌処理	劇	－	合ピレ	フォ－ス粒剤	4kg/10a	
	－	－	ベンゼンスルホン酸	ネビジン粉剤	作条:20kg/10a 全面:20～30kg/10a	
株元処理	－	－	合ピレ	ガードベイトA	3kg/10a	
散布	－	－	合ピレ	アディオン乳剤	2,000～3,000倍	50ml
	－	－	ネオニコチノイド	スタークル顆粒水溶剤	2,000～3,000倍	33～50g
	劇	－	ネライトキシソ	パダンSG水溶剤	1,500倍	66g
	－	－	スピノシン	スピノエ－ス顆粒水和剤	5,000倍	20g
	劇	－	METI	ハチハチ乳剤	1,000～2,000倍	50～100ml
	－	－	その他	プレオフロアブル	1,000倍	100ml
	－	－	オキサジアジン	トルネ－ドエ－スDF	2,000倍	50g
	－	－	ジアミド	プレバソンフロアブル5	2,000倍	50ml
		－	ジアミド	ベネビアOD	2,000～4,000倍	25～50ml
	－	－	マクロライド	アフ－ム乳剤	1,000～2,000倍	50～100ml
	－	－	メノイオン系	フィールドマストフロアブル	4000倍	25ml
	－	－	メタジアミド	プロフレアSC	2,000～4,000倍	25～50ml
	劇	－	呼吸阻害	コテツフロアブル	2,000倍	50ml
	－	－	IGR	カスケ－ド乳剤	4,000倍	25ml
	－	－	BT	ゼンターリ顆粒水和剤	1,000～2,000倍	50～100g
	－	－	スピノシン	ディアナSC	2500～5000倍	20～40ml
	－	予	銅	クプロシ－ルド	1,000～2,000倍	50～100ml
	－	予	微生物	マスタピース水和剤	1,000～2000倍	50～100g
	－	予	銅	コサイド3000	1000倍	100g
	－	予治	カルボン酸	スターナ水和剤	2,000倍	50g
	－	予治	SDHI	アフェットフロアブル	2,000倍	50ml
	－	予治	Qoi	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	33g
	－	予治	CAA・有機塩素	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	100ml

使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	適用病害虫名											防除上の注意事項	
		根こぶ病	花蕾腐敗病	軟腐病	菌核病	黒すす病	べと病	コナガ	ヨトウムシ	アオムシ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ類		アブラムシ類
育苗期後半 ～定植時	1							●		●	●			・灌注 セル成型育苗トレイ (30×60cm・使用土壌約1.5～4ℓ)
育苗期後半 ～定植当日	1							●		●	●		●	
育苗期後半 ～定植当日	1				●									
定植前日 ～定植当日						●								
定植時	1							●					●	
定植前	1	●												
定植時	1								●	●		●		・株元散布 ・アセフェートの総使用回数1回。
定植時	1											●		・全面土壌混和
は種または 定植前	1	●												
生育初期	5											●		・ガードベイトAおよびアディオン乳剤は同一成分なので、総使用回数は合わせて5回以内とする。
3日前	5							2,000 ●				●	●	・ガードベイトAおよびアディオン乳剤は同一成分なので、総使用回数は合わせて5回以内とする。
3日前	2												●	
7日前	4							●						
3日前	3							●		●				
7日前	2							●		●			●	・幼苗期に使用すると薬害を生じる恐れがあるので使用を避けること。
7日前	2							●			●			・シロイチモンゾウにも登録あり。
14日前	2							●		●	●			・シロイチモンゾウ、ウワハ類にも登録あり。 ・20倍(1～2L/10a)で無人航空機による散布登録あり。
前日	3							●		●	●			・ハイマダラノメイガに2,000倍で登録あり。
前日	3							●		●	●		2,000 ●	・アザミウマ類に2,000倍で登録あり。 ・シロイチモンゾウに2,000～4,000倍で登録あり。 ・20倍(1～2L/10a)で無人航空機による散布登録あり。
3日前	3							●	●	●	●			・オオタバコガにも登録あり。
3日前	2							●	●	●	●			ハイマダラノメイガ、シロイチモンゾウにも登録あり
前日	3							●	●	●	●			・オオタバコガにも登録あり。
3日前	2							●	●	●	●			・シロイチモンゾウにも登録あり。
7日前	2							●	●	●	●			・アザミウマ類にも登録あり。 ・32倍(1.6L/10a)、64倍(1.6～3.2L/10a)で無人航空機による散布登録あり。
発生初期 (但し前日まで)	－							●	●	●	1,000 ●			・野菜類で登録 ・アイザワイ系BT生菌
前日	2							●	●	●	●			・ウワハ類、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ、オオタバコガにも登録あり。
－	－		●	※										・「はなやさい類」で黒斑細菌病の登録あり ※「野菜類」で軟腐病登録あり(1,000～1,500倍)
前日	－		●	●										・黒斑細菌病登録有り。 ・乳剤、抗生物質、銅剤との混用不可
－	－		●	※										※野菜類で登録あり
14日前	2		●	●										・黒斑細菌病登録有り。
前日	3				●	●								・根朽病に登録あり。 ・地際に薬液がかかる時期に防除する
3日前	3					●								・菌核病に登録あり。
出蕾前まで 但し21日前	2						●							